授業科目名： 病弱教育総論	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： ２単位	担当教員名：南風野　久子 担当形態：単独
実務内容 （実務家教員の場合）	2022 年度~明治学院大学　病弱教育総論担当 2022 年度~関東学院大学　病弱の教育Ⅰ、Ⅱ担当		
科　目	特別支援教育に関する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目 ・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目		

「学位授与の方針」との関係

・多様な人々や生命に対して、他者を認め、他者を排除せず、仲間を作るという星槎の三つの約束の精神に則って、共生社会の創造に貢献する姿勢を身につけていること。

・共感理解教育の理念を認識し、実践すること。

授業の到達目標及びテーマ

病弱･身体虚弱児は、慢性的疾患や身体虚弱のため、長期にわたり医療や生活上の規制を必要としている。このような児童生徒については、その健康の回復や心身の望ましい発達を図るために、医療や生活規制と並行して適切な教育を行うことは極めて重要なことである。このような生活状況の中で、より充実した生活が営まれ、よりよい自己実現が図られることを意図する教育であることの理解を深める。

授業の概要

（１）自己の病弱・身体虚弱の状態を理解し、健康状態を回復、改善するのに必要な生活様式を正しく実践する態度、習慣を養うための指導について学ぶ。

（２）病気に対する不安や行動制限に基づく欲求不満などの心理的動揺を解消するための指導を行う。

（３）授業時数の制限や身体活動の制限を受けている場合が多いので、授業内容の精選や指導法、教具などの工夫によって学習の遅滞や学習の空白をできるだけ補う方策を講ずる事などを学ぶ。

授業計画

第１回：病弱・身体虚弱の理解

第２回：病弱教育の歴史（外国・日本）

第３回：病虚弱児の特性　①心理的・生理的・病理的特性

第４回：病虚弱児の特性　②種類・身体発達の特徴

第５回：病弱教育の教育課程の編成

第６回：教科指導と生活指導　①教育内容の精選

第７回：教科指導と生活指導　②重点的指導③指導形態

第８回：病弱・虚弱児への教育的支援（幼児期）

第９回：病弱・虚弱児への教育的支援（義務教育段階における教育的支援）

第１０回：医療との連携（学校と病院）

第１１回：自立活動の指導法　①（目標、内容）

第１２回：自立活動の指導法　②（指導計画の作成）

第１３回：進路に対する支援 第１４回：親の理解と家族支援 第１５回：重度障害児の個別の指導計画と学習指導案の作成 定期試験
教科書 （１） 独立行政法人国立特別支援教育総合研究所 『特別支援教育の基礎・基本 2020』新学習指導要領対応　ジアース教育新社 （２） 文部科学省『特別支援学校教育要領・学習指導要領解説　総則編（幼稚部・小学部・中学部）』
参考文献 （１）文部科学省『特別支援学校教育要領・学習指導要領解説　自立活動編（幼稚部・小学部・中学部）』開隆堂 （２）全国特別支援学校病弱教育校長会『病気の子どものための教育必携』ジアース教育新社 （３）日本育療学会　標準「病弱児の教育」テキスト　ジアース教育新社
学生に対する評価 レポート評価（５０%）、科目修得試験（５０%）の割合で総合して評価する。